

領域	質問	回答
教育方針	教育方針について	校訓は、「克己 創造 敬愛」です。「国際社会および地域社会のリーダーとして貢献できる知徳体の調和のとれた人材」を育成することを教育方針として、各種教育活動を実践しています。本校ホームページに、今年度のスクールプラン等を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。
	先生方が生徒に向き合う際に大切にしていることは何でしょうか	生徒の主体性を育むことを重視しています。そのためには、教員からの指示(命令や禁止)で生徒を「動かす」のではなく、選択と判断を求める「問い」で責任と覚悟を伴う行動を取ってもらうようになることを促すようにしています。
	他の進学校に勝る強みや特性についてご教示ください	他校がどうというコメントは控えさせていただきます。ただ、本校は進取の精神に満ちた学校であると思います。学校としての様々な教育改革の積み重ねだけでなく、生徒たちが新しいことに果敢にチャレンジしようとする雰囲気があります。そのような環境で学ぶ生徒たちには、多様な人たちと協働しながら課題解決にあたらうとする者が多くいます。
学習・授業	内進生に追いつくために、授業のスピードが速いのでしょうか。	高志中学生が中学校時代に先行履修する数学や理科、英語の一部については、高入生とは異なる授業講座を編成します。高入生の授業を内進生の進度に合わせるということはありません。
	塾に行っている人はどれぐらいいるのでしょうか。	1・2年生で40%前後、3年生になると60%強の生徒が通塾しているようです。
	混合クラスにおける、内進生と高入生の数学の授業カリキュラムについて	数学においては、内進生と高入生は別々の授業講座で授業を行います。
	内進生と高入生が1年から混合クラス編成との事ですが、学習進度の差はどのように埋めていくのでしょうか。	高志中学生が中学校時代に先行履修する数学や理科、英語の一部については、高校入学時点で授業進度が異なります。それを無理に埋めるということはありません。ただし、科目によっては、3年次の中頃に高入生の学習範囲が内進生のそれに追いつくので、3年次後期に同じ講座で授業を受けるケースがあります。
	授業以外の学習サポートについて	家庭学習の課題が課される教科があります(教科によっては、選択制)。リクルート社のスタディサプリを導入しており、タブレット等で動画を視聴するなどして授業の事前学習や復習等に活用しています。もちろん、質問等があるときは教科の担当教員が対応します。
	学習カリキュラム	本校は、進学型単位制の考え方にに基づき、3か年間の教育課程(カリキュラム)を編成しています。教育課程には、内進生と高入生の2種類があります。学年が上がるごとに選択科目が増えること、本校独自の「学校設定科目」が多く配置されていることが特長です。
	長期休み等の期間に補習等がありますか？ また普段放課後等に学習室等がありますでしょうか？	夏休み、冬休みに補習を実施しています。従来は、土曜日に全員参加の「土曜課外」を行っていましたが、昨年度から取りやめました。希望者対象に様々なテーマ・内容で講座を開くことはあります。放課後等の学習には、自習室を使うこともできますし、自分の教室で学習してもらうこともできます。
	勉強がついていけなくなったときのフォロー内容	個別の質問には各教科の担当教員がしっかり対応します。学び直しを目的とした補講等を行うこともあります。
	勉強の進み方はできる子に合わせるのか、出来ない子に合わせるのか？	授業のあり方は協働的な学びと個別最適化の実現に向けて行われます。特定の層の生徒にのみ合わせた学習指導を行うということはありません。それぞれの生徒に対応できるよう、各教員が指導力の向上や生徒の対応に努めています。
	学習指導要領について	文部科学省が各教科の目標や取扱い内容等を定めた「学習指導要領」に基づいて、それぞれ授業を行っています。「学校設定科目」については、本校が定めた目標や内容(県教委の承認済み)を意識しながら授業を行います。
探究創造科・SSH	探究科の特徴	生徒は、理数系、人文・社会系に分かれて、自分が興味のあることをテーマに設定して、課題研究を行います。1年次前半に基礎講座で探究の基本スキルを学んだあと、1年次後半に予備的研究(課題研究の試行)、2～3年次にグループで本格研究を行います。大学や企業の専門家からの指導を受けながら、研究を進め、校内外での発表も経験します。新しい商品やサービスを開発したり、科学分野のコンクール等で優秀な成績を収めたりする生徒もいます。
	SSHについて詳しく知りたい	平成15年度より、文部科学省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けています。昨年度から第Ⅶ期【先導的改革型】の指定を受けており、これまでの取り組みをさらに発展させるとともに、県内外の他の高校に対する理数教育の普及にも力を入れています。
進路・進学	進学実績、卒業後のこれまでの進路	本校の生徒は、ほとんどの生徒が大学に進学します。昨年度の卒業生の例でいうと、国公立大学への進学が約67%、私立大学進学が約24%でした。
	どのような大学を目指せるのか	昨年度は、北信越地区の国公立大学合格者が82名、東京大学等の難関国公立大学への合格者が32名いました。学部・学科別では、生徒たちは非常に多様な進路先に進めます。どのような進路希望であっても、本校は一人ひとりの生徒の志望実現に向けて精一杯サポートします。
	大学進学後の生徒へのアフターフォローについてお考えがあれば教えてください。	大学に進学した卒業生は、各自の責任において、学問に精進してもらいたいと考えています。卒業生に本校へ来てもらい本校生に話をしてもらう機会はありますが、大学生となった卒業生たちを特に支援する体制は取っていません。いわゆる浪人生として再受験を目指す卒業生には、進路情報の提供だけでなく、心理面でのサポート等も行います。
部活動	部活との両立について	部活動と学習の両立ということでしょうか。ほとんどの生徒は、上手に両立しています。部活動は、教科の学習とは異なる経験と学びの場であり、生徒にとって学校生活の大切な柱の一つです。学習と部活動を対立するもの、あるいは部活動が学習を疎外するものとして捉えないようにしていただきたいと思います。むしろ、物事の優先順位を付け時間を上手に使うなどの努力をすることによって、セルフコントロールがうまくできるようになるのではないのでしょうか。
	部活動のかけもち	運動部と文化部、あるいは2つ以上の文化部をかけ持ちしている生徒は一定数います。自分の興味・関心や時間の制約等を考慮して、活動する部を決めていただければと思います。

海外留学・海外進学	海外留学等について、ご教示いただけますと幸いです。	高校に在学しながら、海外の高校等に留学することが可能です。本校では、UWCIに2年間留学する生徒、AFSやロータリークラブ等の斡旋を受けて留学する生徒など、様々な生徒がいます。夏季休暇等を利用して短期の留学をする生徒もいます。
	在学中の留学についての事例、進学先でダイレクトに海外進学をした生徒の事例を知りたいです。	この3年間でUWCIに2年間留学する生徒が3名います。(うち1名は、留学後に海外大学に進学しました。)この他、1年間の留学をしている生徒も複数います。昨年3月の卒業生で、アメリカの大学に進学した生徒が1名いました。
健康	アレルギーがある生徒に対する対応	健康面等のご心配なことは、クラス担任にお伝えいただいた情報を養護教諭やその他の関係教員と共有し、必要に応じた対応を取らせていただいています。
研修旅行	修学旅行(予定場所と内容)について	本校では、2年次の10月に「選択型研修旅行」を実施しています。学年全体で同じところに行くのではなく、国内・海外の8～9コースから1つを選んで参加するというものです。国内なら4泊5日程度、海外なら6泊8日程度の日程です。いずれのコースでも、高校・大学への訪問と交流、課題研究にかかる交流、研究施設等での研修等を行います。
内進生と高入生	1年から内進生と同じクラスになることの学力の差やクラスの雰囲気について	個人ごとに得意・不得意があるという意味では、個人間の学力差はあると思います。ただし、「高入生／内進生だから～」という考えにとらわれる必要はありません。自分の得意をさらに強化し、不得意・苦手にも粘り強く取り組む姿勢で、学習に臨んでもらえればと思います。高入生と内進生が混在するクラスの雰囲気は、とても活気があります。学校としても、生徒たちが一人ひとりの良さを発揮し、お互いを尊重し合うことができるようなクラスづくりをすすめます。
	高志中学校の生徒さんとは高校ではクラス編成はどうなるのでしょうか？混ざるのか混ざらないのか気になります。	1学年に7つのクラスがあり、どのクラスにも高入生と内進生がいます。令和6年度1年生の場合、1クラスの人数は、高入生が約22人、内進生が約13人です。
	高志中から高校に上がる生徒と、高校から入る生徒で、勉強の進み具合や探究教科等への取組み状況も異なっていると思うが、どのようにレベルを合わせていくのかお聞きたい	高志中学校では、数学と生物において高校の科目を先行履修しています。英語も、高志中学校の授業時間数が他の中学校よりも多いことから、学習進度が進んでいると言えます。これらの科目については、別々の授業講座で授業を行います。また、高志中学校の「高志学」(探究的な学習の時間)で行う独自の取組によって、内進生は比較的早い段階から豊かな発想力や表現力、高い行動力を身につけていると言えます。高入生の皆さんには、このような内進生の強みを自分にも取り入れ、自己の能力向上に生かしていただければと思います。互いの強みを発揮し合って切磋琢磨することがプラスになるものと考えています。
	高志中から上がった人との交流について。同じクラスになるのかなど	高入生と内進生は、同じ生活クラスで学校生活を共にします。遠足や合唱コンクール、学校祭といったイベントでも仲間として協力・協働し、切磋琢磨してもらいます。
	入学後高志中出身生と、疎外されず上手くやっていけるのか	当然ですが、内進生は高志高校・中学校のことに、高入生よりは知っています。しかし、そのことで高入生が内進生から疎外されるということはありません。内進生も、高入生の皆さんと同じように、高志高校での生活をドキドキしながら楽しみに待っているのです。ともに、新たに出会う仲間として、充実した学校生活を過ごしてもらえるものと考えています。
高校入試	毎年、倍率が高い理由	本校の地理的条件や進学実績等も要因の一つではあると思いますが、長年かけて築いてきた校風や生徒の気質等が、多くの皆さんにご支持いただいているものと喜んでいます。
	入試問題のレベル、倍率	合格に必要な成績等については、中学校の先生等とよくご相談ください。また、来年度入試の倍率については、予測することはできません。
	ここ5年間の倍率	一般入試の倍率は、R6年度1.89、R5年度1.36、R4年度1.86、R3年度1.72、R2年度1.88でした。
	合格するには何点必要か	中学校の先生等と、よくご相談ください。
その他	入学前の必要経費、制服や授業料外の費用など	本校の入学者選抜に合格された皆さんに配付する「入学予定者の手引き」で詳しくお伝えしますので、そちらを参照ください。入学後は授業料の他、学納金・研修旅行費用積立金等として、1か月に2～3万円程度を納入いただきます。
	年間予定について	大まかな年間行事については、説明会当日に配布する学校案内を参照してください。また、本校ホームページにも年間の主な行事を掲載していますので、そちらもご覧ください。
	送迎の事があるのですが何時から学校の中に入れるのか教えていただきたいです。	本校では、自家用車で校内乗り入れはご遠慮いただいています。また、学校周辺での乗車・降車もご遠慮いただいています。
	オープンスクールに行けなかったので、秋ごろにオープンスクールか学校見学出来る日があるのかが知りたいです。あと、生徒の皆様の話が聞けたらと思います。	今年度は、今後のオープンスクールや学校見学会等は予定していません。夏のオープンスクールでは、本校生の話をお聞きいただけましたが、今後はそのような場面の設定は難しいと思います。
	毎日の学校閉鎖時間	学校は20時に完全施錠されます。生徒の皆さんは、18:55が完全下校時刻です。また、曜日によって6限授業、7限授業の日に分かれていますので、それによって部活動終了時刻が変動します。
	土曜日の通学回数	基本的に、土曜日に課外授業等を行うことはありません(希望者対象のセミナー等を除く)。部活動が土曜日に行われる場合は、登校の必要があります。また、年に数回程度、土曜日が授業日となることがありますが、その際は、別の日が振替休日となります。
	食堂や購買は充実していますか？	食堂は「若葉食堂」といって、高志中学生が給食を摂る場所です。高校生のうち、希望する人は、食券を購入すれば、定食または軽食を食べることができます。購買では、パンや弁当の販売があります。